

note、英語の自動翻訳を有料記事にも拡大 韓国語対応も順次開始

note

日本語で書いた記事が、世界へ

自動翻訳開始2ヶ月で225の国と地域からアクセス

noteは、2026年5月27日より記事の自動翻訳を全クリエイターに提供しました。開始から2ヶ月で、英語に翻訳された記事は世界225の国と地域から読まれ、最もアクセスが多かったのはアメリカでした。生成AIや開発ツール、ゲームなど世界共通のテーマだけでなく、企業の創業ストーリーや日本の制度、施設や催しなど、日本ならではの情報も海外の読者に届いています。

こうした広がりを受け、英語への自動翻訳が、有料記事（※）にも対応しました。あわせて、本日8月26日（水）から、無料記事では新たに韓国語への自動翻訳も順次開始します。クリエイターがいつでもどおり日本語で創作しながら、より多くの読者へ作品を届けられる環境を広げていきます。

提供開始から最初の2ヶ月、5月27日から7月27日までのデータと実際に海外から読まれた記事に加え、新たに拡大した自動翻訳の内容をご紹介します。

※記事単位で販売されている有料記事が対象です。定期購読マガジン、メンバーシップ、有料マガジンは対象外です。

どの国で読まれているか。最も多いのは「アメリカ」

最も多く読まれたのはアメリカで、次いでシンガポール、イギリス、カナダ、ブラジル、インドの順です。これまでは自動翻訳の対応言語が英語のみだったため、上位には英語圏の国が並びます。一方で、ブラジルをはじめ、ポーランド、ドイツ、韓国といった非英語圏の国も10位以内に入り、英語を介して英語圏以外の読者にも届いています。

翻訳記事の海外PV 国別ランキング

※note調べ（2026年5月27日～7月27日）

1位	アメリカ	6位	インド
2位	シンガポール	7位	ポーランド
3位	イギリス	8位	ドイツ
4位	カナダ	9位	オーストラリア
5位	ブラジル	10位	韓国

note

何が読まれているか。「生成AI・開発ツール系」「ビジネス」「ゲーム」が人気

カテゴリ別で最も多く読まれたのは「IT（生成AI・開発ツール系）」で、ビジネス、ゲームが続きます。4位以下には人文学、旅行・おでかけ、フードが並び、実用的な記事から趣味の記事まで幅広く読まれています。

翻訳記事の海外PV カテゴリ別ランキング

※note調べ（2026年5月27日～7月27日）

1位	IT（生成AI・開発ツール系）	6位	フード
2位	ビジネス	7位	音楽
3位	ゲーム	8位	ガジェット
4位	人文学	9位	サイエンス
5位	旅行・おでかけ	10位	創作

note

国によって読まれるカテゴリにも違いがあります。上位10ヶ国のうち9ヶ国で「IT」が1位となった一方、ブラジルではゲームが1位に。2位以下ではビジネスやゲーム、旅行・おでかけなどが並び、国ごとに異なる傾向も見えてきました。

国別 よく読まれたカテゴリ TOP5					
※note調べ（2026年5月27日～7月27日）					
国	1位	2位	3位	4位	5位
アメリカ	IT	ビジネス	ゲーム	フード	人文学
シンガポール	IT	ビジネス	ゲーム	人文学	旅行・おでかけ
イギリス	IT	ビジネス	ゲーム	人文学	音楽
カナダ	IT	ビジネス	ゲーム	人文学	旅行・おでかけ
ブラジル	ゲーム	IT	ビジネス	フード	旅行・おでかけ
インド	IT	ビジネス	人文学	ゲーム	旅行・おでかけ
ポーランド	IT	ビジネス	ゲーム	人文学	フード
ドイツ	IT	ゲーム	ガジェット	ビジネス	人文学
オーストラリア	IT	ゲーム	旅行・おでかけ	ガジェット	人文学
韓国	IT	ゲーム	旅行・おでかけ	ビジネス	ガジェット

note

※カテゴリはnoteの自動分類によるもので、「IT」は生成AI・開発ツール系の記事が中心です。

世界共通のテーマだけでなく、「日本だからこそ」の情報も読まれる

海外から読まれているのは、世界共通のテーマだけではありません。日本ならではの情報も読まれています。たとえば、ベルーナドームの座席からの見え方を紹介した西武ライオンズの記事もそのひとつです。日本語で書かれたさまざまな知識や経験が、翻訳を通じて海外の読者にも届きはじめています。

<よく読まれた記事の紹介>

海外からよく読まれた記事の一部をご紹介します（順不同）。
ゲームの攻略や生成AIを使ってみた記録といった実践的な記事から、海外の現地で買える食品の食べくらべ、ロングセラー商品の誕生秘話、税制改正の解説まで、内容はさまざまです。

個人

- [【DAVE THE DIVER】ジャングルアップデート オススメ料理・武器ガイド](#)（笹がきゴボウ）
- [\[VSCode\]動かなくなったTodo Treeを使えるようにする](#)（西山 信行）
- [Claude Fable 5 でグラフィックデザインしてみる。](#)（CreativeEdge CL+）
- [「老後資金4000万円必要」に対する誤解](#)（永濱利廣 第一ライフ資産運用経済研究所首席エコノミスト）
- [シンガポール市販ラクサペースト食べくらべ13選](#)（thumb）

法人・自治体（note pro）

- [【公式】ベルーナドームの座席からの見え方やおすすめ席](#)（西武ライオンズ）
- [【創業秘話】永谷園「お茶づけ海苔」誕生物語](#)（永谷園）
- [名古屋城金鯱（きんしゃち）展、3月20日から開始](#)（名古屋市）※本展は終了しています
- [2026年の税制改正で何が変わる？](#)（財務省）

日本語の記事をさらに世界へ。自動翻訳の対象・言語を拡大

今回、より多くのクリエイターの記事を海外の読者へ届けるため、自動翻訳の対象となる記事と対応言語をそれぞれ拡大します。

英語への自動翻訳が、単発の有料記事にも対応

これまで無料記事を対象としていた英語への自動翻訳が、有料記事にも対応しました。これにより、日本語でつくった有料コンテンツも、海外向けに翻訳した記事を別途用意することなく、英語で海外の読者に届けられるようになりました。クリエイターが自身の知識や経験、作品を有料で届ける際にも、言語を越えて新たな読者と出会える機会を広げていきます。

無料記事では、韓国語への自動翻訳も順次開始

これまで無料記事の自動翻訳は英語に対応していましたが、本日8月26日（水）から、新たに韓国語への翻訳も順次開始します。

提供開始から2ヶ月のデータでは、英語に翻訳された記事へのアクセス数で韓国も10位以内に入りました。英語を介してすでに日本語の記事が読まれているなか、韓国語にも対応することで、日本語で書かれた記事をより多くの読者へ届けられる環境を整えていきます。

noteは、クリエイターがいつでもどおり日本語で創作しながら、言語や国・地域を越えて作品を届けられる環境をつくっていきます。今後も対応言語や対象コンテンツの拡大を検討していきます。

※自動翻訳は機械翻訳のため、訳文が原文と完全に一致しない場合があります。クリエイター自身が設定で自動翻訳をオフにできます。

※有料記事の自動翻訳は、現在英語のみ対応しています。韓国語への自動翻訳は、無料記事を対象に順次開始します。

※本リリースの「世界225の国と地域」およびランキング等の数値は、英語に翻訳されたページへの日本以外からのアクセスを集計したものです（2026年5月27日～7月27日、翻訳対象は無料記事）。「国と地域」はISO 3166に準拠した集計単位で、属領・自治領・特別行政区などを個別に含むため、国連加盟国（193ヶ国）とは数え方が異なります。

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8,209万件の作品が誕生。会員数は1,248万人（2026年5月末時点）に達しています。

- URL：<https://note.com/>
- iOSアプリ：<https://apps.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>